



2022年5月11日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学主催 第47回小泉信三賞全国高校生小論文コンテストのお知らせ

慶應義塾大学では第47回となる「小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト」を開催いたします。本コンテストは、1933年から13年余、慶應義塾長を務めた小泉信三博士の没後10年を記念し1976年に始まりました。卓越した研究者・教育者であり、優れた文筆家でもあった小泉博士の人格と業績を後世に伝え、青少年の文章表現能力の向上に寄与することを目的としています。

若者の文章能力の欠如が指摘される昨今ですが、本コンテストは6,000～8,000字の長文で論旨のはっきりした「小論文」を募集するもので、毎年、全国から多数の応募があり、質の高い作品が寄せられています。

つきましては、本年も、より多くの高校生や保護者、高校教諭の方々にコンテストの主旨を広め、多数のご応募をいただけるよう、本コンテストのご紹介をお願い申し上げます。

小論文コンテスト募集要領

<小論文課題> (次の5つの課題から1つを選択)

1. 100年後の世界を生きる
2. 福澤諭吉が今の日本を見たら
3. エンパシー (empathy)
4. 平和と戦争
5. パンデミックを経験して

単なる私見ではなく何らかの裏付けや主張があり、論旨がはっきりしている「小論文」を募集します。

<応募資格>

全国の高等学校に在学中の生徒 (締切日時点)

(高等専門学校、中等教育学校、海外の学校等については、高等学校に相当する学年に在学する生徒)

※海外の学校等では学事日程が国内と異なる場合がありますので、締切日時点でのご自身の高校在籍状況についてご注意ください。

ご不明点がありましたら事前にお問い合わせください。

<応募要領>

慶應義塾ウェブサイト内の募集要項をよく読み、応募してください。

慶應義塾ウェブサイト内 (<https://www.keio.ac.jp/koizumi/>) の応募フォームから、エントリーおよび作品の提出を行ってください。

応募フォームは6月中旬にオープン予定です。最新の情報は上記慶應義塾ウェブサイトをご確認ください。

<執筆要領>

規定字数：6,000字以上8,000字以内（参考文献リストや添付資料は字数に数えません。）

※詳細は慶應義塾ウェブサイトで必ず確認してください。

<締切日>

2022年8月25日（木）17時までに応募フォームより作品を送信

<賞>

小泉信三賞 1名（賞状、副賞 15万円、記念品）

同 次席 1名（賞状、副賞 8万円、記念品）

同 佳作 3名（賞状、副賞 3万円、記念品）

<審査委員>（五十音順）

大串 尚代（慶應義塾大学文学部教授）

小川原正道（慶應義塾大学法学部教授）

権丈 善一（慶應義塾大学商学部教授）

小西 祥文（慶應義塾大学経済学部教授）

早川 浩（株式会社早川書房代表取締役社長）

<審査結果発表>

2022年12月1日（木）に『三田評論』12月号誌上および義塾ウェブサイトにて発表、同時に応募者全員に書面で通知。入賞作品は『三田評論』1月号（2023年1月発行）および慶應義塾ウェブサイトに掲載を予定しています。

<授賞式>

2023年1月10日（火） 慶應義塾大学三田キャンパス（第188回福澤先生誕生記念会 会場）（予定）

<問い合わせ先>

慶應義塾広報室 「小論文コンテスト」係

TEL:03-5427-1541 E-mail:koizumi-contest@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/koizumi/>

小泉信三（こいずみしんぞう）について

1888（明治21）年東京生まれ。普通部から慶應義塾に学び、1933（昭和8）年に慶應義塾長に就任し、以来13年余の長期にわたり塾長を務めました。1949（昭和24）年、東宮御教育常時参与に任ぜられ、その後、1959（昭和34）年、文化勲章を受章しました。

学生時代はテニス部に所属したスポーツマンで、平生好んで口にした「練習ハ不可能ヲ可能ニス」という言葉は広くスポーツをする人たちの座右の銘となっています。著書に『青年小泉信三の日記』、『ペンハ剣よりも強し』などがあります。

*本資料は、各社学芸部・文化部、イベント欄担当などに送付させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 若原・澤野・望月・小川

TEL:03-5427-1541 FAX:03-5441-7640

Email:m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/ja/>